

2. 交流による豊かな人間関係づくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	26年度 自課評価	27年度 事業方針	27年度事業予定	指標	26年度 実績値	27年度 目標値	28年度までの [累計]又は28年 度目標値	備考
(1) サークル・団体の活動支援	ア サークル・団体に対する支援の公平化	(ア)生涯学習施設の使用料の見直し	中央公民館	24年度より公民館及び施設使用料を見直し、サークル活動等社会教育の目的に使用する団体については、団体登録により、施設使用料を減免します。	C	継続	各地区公民館で昨年度登録団体に更新登録を促し、施設使用料を減免します。	登録数	186	190	200	
			スポーツ振興課	料金体系の一部見直しを行います。	E	改善	施設の料金体系を見直します。 【改善点】全施設の料金体系について総合的に検討します。	回数	0	1	1	
	イ サークル・団体間の連携支援	(ア)市全域にわたる組織づくりの促進	スポーツ振興課	既存クラブに対する運営支援を行います。	C	継続	健全運営に向け、県広域スポーツセンターを含めた連絡協議会を引続き開催して、情報交換を行います。 *9クラブ	回数	2	2	2	
			中央公民館	伊賀市ホームページに地区公民館サークル・団体の情報を掲載します。	C	継続	各地区公民館で伊賀市ホームページに公民館サークル情報を掲載し、随時更新していきます。また、サークルに加入したい人のために、連絡先等公開できるものは掲載していきます。	箇所数	6	6	6	
		(ウ)サークル・団体に関する情報紙の発行	中央公民館	中央公民館広報紙を作成し、発行します。	C	継続	中央公民館広報紙にサークル情報を掲載します。また、サークルに加入したい人のために、連絡先等公開できるものは掲載していきます。	回数	1	1	1	
			スポーツ振興課	「スポーツ忍」を発行します。	C	継続	体育協会の協力を得て、社会体育振興のための機関紙「スポーツ忍」を発行し、スポーツの啓発に努めます。	回数	2	2	2	

自課評価

- | | |
|-------------------|---------------|
| A. 充分に取り組みができた | 120%以上 |
| B. かなり取り組みができた | 105%以上～120%未満 |
| C. 取り組みができた | 95%以上～105%未満 |
| D. あまり取り組みができなかった | 80%以上～95%未満 |
| E. 取り組みができなかった | 80%未満 |

2. 交流による豊かな人間関係づくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	26年度 自課評価	27年度 事業方針	27年度事業予定	指標	26年度 実績値	27年度 目標値	28年度までの [累計]又は28年 度目標値	備考
(2) 多文化共生の推進	ア 国際理解の推進	(ア)外国人住民への生涯学習活動の周知	市民生活課	生活相談や広報紙を通じて、生涯学習活動の周知をします。	C	継続	生活相談や外国語版情報紙を通じて、生涯学習活動の内容を外国人住民に周知します。	回数	1	1	[5]	
		(イ)外国人住民と日本人住民との交流事業の推進	市民生活課	外国人住民と日本人住民、地域の多様な主体が企画段階から参画する啓発事業を実施します。	C	継続	多文化共生に関する理解と認識を深めることを目的とした国際交流フェスタを開催します。	回数	1	1	[5]	
		(ウ)国際交流活動支援事業の推進	市民生活課	国際交流活動に取り組む団体の活動情報等を市民に発信します。	C	継続	青年海外協力隊等のボランティア活動に取り組む団体の活動を広報等で情報提供します。	回数	3	3	3	JICAボランティアの募集は春秋の年2回のみ H26年度実績:JICAボランティア募集説明会1回、JICA表敬訪問2回
	イ 多文化共生に向けた各種団体の活動支援	(ア)国際交流協会事業の推進	市民生活課	伊賀市国際交流協会が行う国際交流や国際理解への取り組みを支援します。	B	継続	伊賀市国際交流協会が行う事業(多文化共生事業、国際交流事業、地区活動事業、広報活動事業)への補助を行うとともに、事業推進のために助言、指導を行います。	事業数	18	18	18	
(3) 世代間交流の推進	ア 祭りや行事を通じた世代間交流の推進	(ア)祭りや行事の世代間交流の推進	生涯学習課	地域に伝わる祭りや行事を支援します。	C	継続	青少年育成団体が実施する地域の夏祭りや伝統行事等の地区活動を支援します。	地区数	6	6	6	
	イ 子どもと地域住民の交流の場づくり	(ア)つどいの広場、子育てサロンの開設	こども家庭課	子どもを持つ親とその子どもが気軽に集い交流を図る場を提供します。	C	継続	各子育て支援センターにおいて読み聞かせ、ふれあい遊び、簡単な工作等の事業を実施し、親と子が気軽に集い、親同士の交流が図れる広場を提供します。	箇所数	9	9	9	子育て包括支援センターは保健センターと共に交流広場を提供しています
		(イ)放課後子ども教室への地域住民の参加・協力の促進	生涯学習課	放課後子ども教室の設置に向けて学校や地域との協議に努めていきます。	E	改善	放課後子ども教室周知のために、公民館長会議等で周知します。 【改善点】周知回数を増やします。	回数	1	2	[5]	

自課評価
 A. 充分に取り組みができた 120%以上
 B. かなり取り組みができた 105%以上～120%未満
 C. 取り組みができた 95%以上～105%未満
 D. あまり取り組みができなかった 80%以上～95%未満
 E. 取り組みができなかった 80%未満

※28年度までの[累計]又は28年度目標値
 累計：28年度までの5年間の数値を[]内に記載
 目標値：数値をそのまま記載

2. 交流による豊かな人間関係づくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	26年度 自課評価	27年度 事業方針	27年度事業予定	指標	26年度 実績値	27年度 目標値	28年度までの [累計]又は28年 度目標値	備考
(3) 世代間交流の推進	イ 子どもと地域住民の交流の場づくり	(ウ) 保育所(園)、幼稚園、小・中学校の各種行事における高齢者との交流の推進	こども家庭課	保育所(園)において随時交流事業を実施します。	C	継続	保育所(園)活動や園行事において、交流計画を立て実施します。	箇所数	34	34	34	統廃合により所(園)数が減少することにより目標数値が変動することがあります
			学校教育課	様々な経験や技術を持つ人を招き、地域と連携した教育活動を推進します。	C	継続	すべての学校(園)で、ゲストティーチャー等を招いての授業を実施します。	校(園)数	36	33	33	平成27年度小学校が統合により減数
			こども家庭課	保育所(園)において随時訪問事業を実施します。	C	継続	老人施設や地域のサロン事業に積極的に参加し、交流します。	箇所数	34	34	34	統廃合により所(園)数が減少することにより目標数値が変動することがあります
			学校教育課	児童生徒の世代を超えた交流活動を実施します。	D	改善	高齢者福祉施設への訪問や交流活動を行います。 【改善点】施設訪問や高齢者を招いての交流活動を実施します。	校数	25	32	32	平成27年度小学校が統合により減数
		(エ) 高齢者サロンへの子どもの参加の促進	こども家庭課	保育所(園)において随時訪問事業を実施します。(再掲)	C	継続	老人施設や地域のサロン事業に積極的に参加し、交流します。(再掲)	箇所数	34	34	34	統廃合により所(園)数が減少することにより目標数値が変動することがあります
			学校教育課	幼稚園児と高齢者との世代間交流を促進します。	C	継続	地域の高齢者を招いて交流活動を行います。	園数	1	1	1	

- 自課評価
- A. 充分に取り組みができた 120%以上
 - B. かなり取り組みができた 105%以上～120%未満
 - C. 取り組みができた 95%以上～105%未満
 - D. あまり取り組みができなかった 80%以上～95%未満
 - E. 取り組みができなかった 80%未満